

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 28 日 (2007.6.28)

【公開番号】特開 2005-174611 (P2005-174611A)

【公開日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【年通号数】公開・登録公報 2005-025

【出願番号】特願 2003-409471 (P2003-409471)

【国際特許分類】

H 0 5 B 41/14 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 41/14 3 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 9 日 (2007.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光源となるランプと、ランプに電力供給する 2 次電池と、外部の常用電源から電力供給を受けて 2 次電池を充電する充電手段と、常用電源の停電状態を擬似的に作り出す第 1 のスイッチと、少なくとも常用電源が停電したときに 2 次電池からの電力供給でランプを点灯させる点灯手段と、2 次電池の電圧を検出する電圧検出部と、点灯手段により所定の点検時間以上強制的にランプを点灯させて電圧検出部の検出出力から 2 次電池の点検を行う点検手段と、2 次電池の点検開始信号を出力する信号生成部とを有する照明装置において、点検手段による点検動作中に点検開始信号が出力されたとき、点検動作を中断することを特徴とする照明装置。

【請求項 2】

信号生成部は、点検者が操作可能な第 2 のスイッチを操作することによって点検開始信号を出力することを特徴とする請求項 1 記載の照明装置。

【請求項 3】

点検手段による点検動作中に第 1 のスイッチが操作されたときに、点検動作を中断することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の照明装置。

【請求項 4】

第 1 または第 2 のスイッチが操作されたか否かの判断は、連続した操作状態が所定時間を超過したか否か、もしくは不連続な操作状態の累積時間がある一定期間内に所定時間を超過したか否かによって行うことを特徴とする請求項 2 または 3 記載の照明装置。

【請求項 5】

請求項 3 ~ 4 のいずれかに記載された 1 台または複数台の照明装置と、前記照明装置と通信線を介して接続され点検開始信号を照明装置へ出力する制御装置とから構成されることを特徴とする照明システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 0】

(関連する構成 1)

なお、実施形態 1 および実施形態 2 で説明した図 1 の点灯回路は、2 次電池 1 のみを電源としてランプ 2 を点灯させても、または 2 次電池 1 と商用電源 A C の双方を電源としてランプ 2 を点灯させても、いずれでも構わない。2 次電池 1 と商用電源 A C の双方を電源とする場合は、図 7 のような構成となる。図 7 の構成例は、特願 2 0 0 2 - 2 7 9 7 6 0 の実施形態 8 に記載されているように、常時及び非常時ともにランプ 2 を点灯させるタイプの非常灯あるいは誘導灯として構成されている。すなわち、図 7 の破線に示すように、電源回路部 4 の出力を充電部 5 だけでなく点灯回路部 6 にも入力し、常時においても商用電源 A C からの電力供給でランプ 2 を点灯させ、非常時には制御部 7 によりスイッチ素子 Q 1 をオンして 2 次電池 1 からの電力供給でランプ 2 を点灯させるものである。なお、本実施形態では常時においてもランプ 2 を点灯させるから、常用時の監視項目（図 2 または図 6 のステップ 1 の判定対象）にランプ 2 の点灯、不点灯の検出も追加する必要がある。

【 手続補正 3 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 3 1

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 3 1 】

(関連する構成 2)

また、図 5 の構成例と同様に、図 7 における自己点検スイッチ 1 4 と信号生成部 1 5 の代わりに制御装置 1 6 と通信部 1 7 を具備した、図 8 のような照明システムの構成であっても、同様の効果を得られる。この場合、定期点検動作の中断は、制御装置 1 6 を操作することによって実現する。

【 手続補正 4 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 3 2

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 3 2 】

【 図 1 】 本発明の実施形態 1 の構成を示すブロック回路図である。

【 図 2 】 本発明の実施形態 1 の動作を示すフローチャートである。

【 図 3 】 本発明の実施形態 1 における自己点検スイッチの操作判定方法の一例を示す説明図である。

【 図 4 】 本発明の実施形態 1 における自己点検スイッチの操作判定方法の他の一例を示す説明図である。

【 図 5 】 本発明の実施形態 1 の一変形例の構成を示すブロック回路図である。

【 図 6 】 本発明の実施形態 2 の動作を示すフローチャートである。

【 図 7 】 本発明の関連する構成 1を示すブロック回路図である。

【 図 8 】 本発明の関連する構成 2を示すブロック回路図である。